

Ethernet Fader for AHM-16/32/64

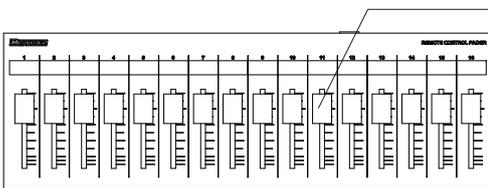
LF08AHM / LF16AHM / LF24AHM / LF24AHM-EIA

取扱説明書

LFシリーズの特徴

LF-AHMシリーズはALLEN & HEATH社の「AHM-16/32/64」に対応した設備用コントローラーです。誤操作などを避けるため、ON/OFFスイッチや設定ボタンなどを搭載しておりませんので宴会場や会議室など、専任オペレーターがいない場所でも簡単に扱うことができます。

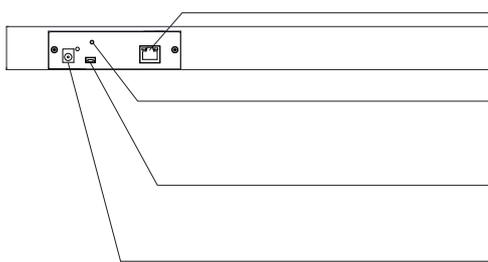
■フロントパネル



フェーダー

LF08AHMは8ch、LF16AHMは16ch、LF24AHMとLF24AHM-EIAは24ch分のボリュームコントロールができます。本製品はAHM-16/32/64の通信プロトコルを使用しており、AHM System Manager内でControl Groupに設定されたチャンネルの音量をコントロールします。ボトムパネルにあるDIPスイッチでControl Groupを切り替えることができます。

■リアパネル



RJ45端子

AHM-16/32/64のコントロールデータを出力します。

M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

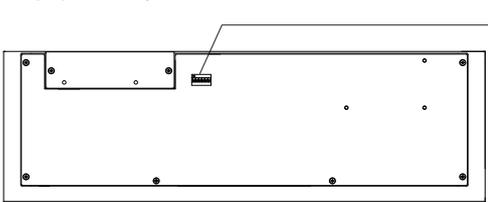
USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

DC IN端子

付属品のACアダプターを接続してください。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

- ・LF-AHMとAHMシリーズを1対1で接続する場合、全てのDIPスイッチをOFFに設定してください。
- ・1台のAHMに対して複数台のLF-AHMを接続する場合はP3のDIPスイッチ設定をご参照ください。
※複数台での接続は4台まで動作確認をしております。



IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF-AHMフェーダーのIPアドレスは192.168.1.168に設定されており、DHCP非対応です。IPアドレス192.168.1.90に設定したAHM-16/32/64をコントロールすることができます。LFフェーダーのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先AHM-16/32/64のIPアドレスを変更する場合は弊社までお問合せください。

サイズ

LF08AHM	W225×D132×H36	1.2kg
LF16AHM	W410×D132×H36	2.1kg
LF24AHM	W610×D132×H36	3.5kg
LF24AHM-EIA	W410×D132×H36	2.0kg

仕様

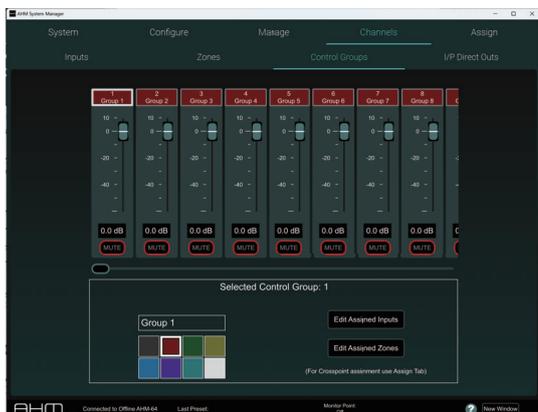
出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
IPアドレス初期値	:192.168.1.168
IPポート初期値	:51325
電源電圧	:9V / 0.3A (LF08AHM) 9V / 0.3A (LF16AHM) 9V / 0.4A (LF24AHM) 9V / 0.4A (LF24AHM-EIA)
付属品	:ACアダプター
塗装	:半艶黒

AHM-16/32/64の設定方法

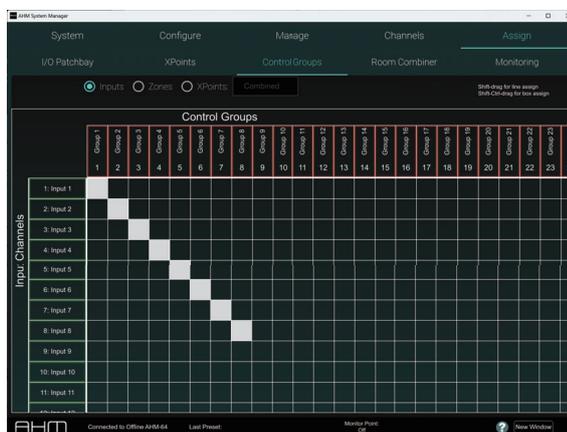
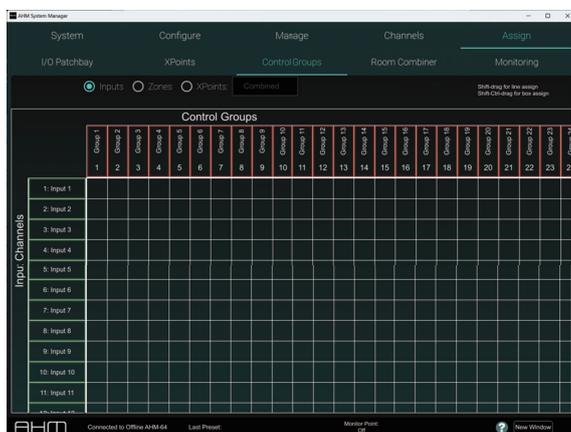
※本マニュアルはソフトウェアバージョン 1.42での設定方法となります。

※AHM System Managerの設定後、PCは必要ありません。LF-AHMとAHM 本体のみで操作ができます。

■LF-AHMでは、AHM System Managerの「Channels」-「Control Group」を操作することができます。



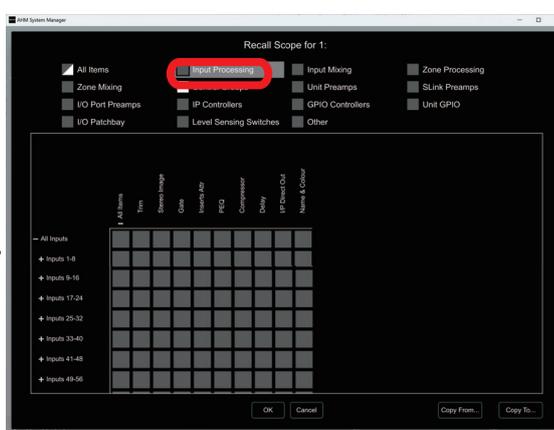
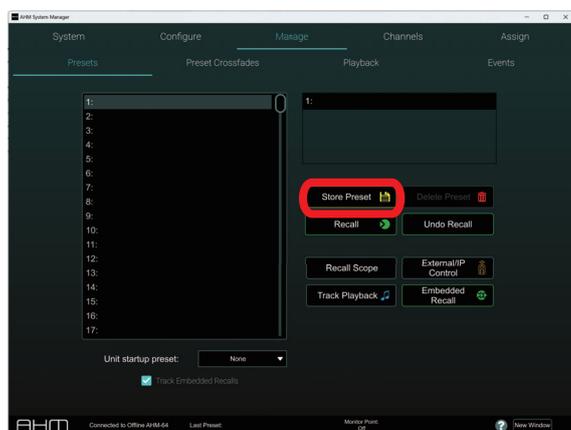
設定例) LF08AHMのch1~8で、AHM本体のInput 1~8を操作したい場合
Input 1 → Group 1にアサインし同様に8までアサインする



LF08AHMのch1~8で、Output1~8を操作する場合には、「○ Zones」を選択し、Zone1~8をGroupにアサインしてください。

※Preset Recall機能をご使用の場合の注意点

PresetのRecall時にAHMのGroupの値とLF-AHMのフェーダー値がずれるのを防ぐため、Recall ScopeからControl Groupのチェックを外すことを推奨しています。



■ LF-AHMのDIPスイッチ設定



LF-AHMとAHMシリーズを1対1で接続する場合はDIPスイッチの設定を1～6全てOFFに設定してください。
全てOFFにすることでLF-AHMのフェーダー1chから順にAHM-16/32/64のGroup Faderをコントロールします。

1台のAHM-16/32/64に対して、複数台のLF-AHMを使用する場合、DIPスイッチとIPアドレスの設定が必要となります。
DIPスイッチの設定により、コントロールするGroup Faderの設定が異なります。詳しくは下記表でご確認ください。

GroupFaderの対応ナンバー			
1 2 3 4 5 6	LF08	LF16	LF24
	1～8	1～16	1～24
	9～16	17～32	25～48
	17～24	33～48	49～72
	25～32	49～64	73～96
	33～40	65～80	97～120
	41～48	81～96	121～144
	49～56	97～112	145～168

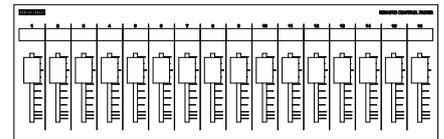
■ 複数台のLF-AHMを接続する場合の設定方法

例) LF16AHMを2台同時に接続する

① 1台目のLF16AHMのDIPスイッチを全てOFFに設定する。



LF16AHMのch1でGroupFaderのNo.1を操作
LF16AHMのch2でGroupFaderのNo.2を操作
以下同様に16までとなります。



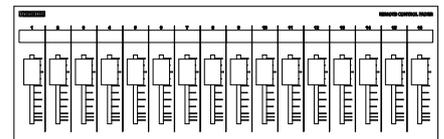
① No.1～16を操作する

② 2台目のLF16AHMのDIPスイッチを1のみONに設定し、IPアドレスを変更する。

フェーダーのIPアドレスを変更する方法については、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。



LF16AHMのch1でGroupFaderのNo.17を操作
LF16AHMのch2でGroupFaderのNo.18を操作
以下同様に32までとなります。



② No.17～32を操作する

③ 変更されたGroupFaderへのアサイン方法は、P2をご確認ください。

※注意 誤動作の原因になりますので、以下の点にお気を付けください。

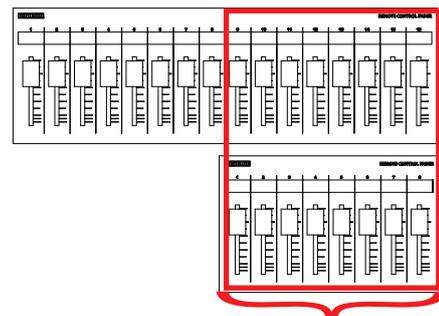
複数台のフェーダー間で、GroupFaderの対応ナンバーが重複しないようにDIPスイッチを設定してください。

組み合わせて使用できないDIPスイッチの例

1台目のLF16AHMのDIPスイッチを全てOFFに設定する。
⇒Group FaderのNo.1～16を操作

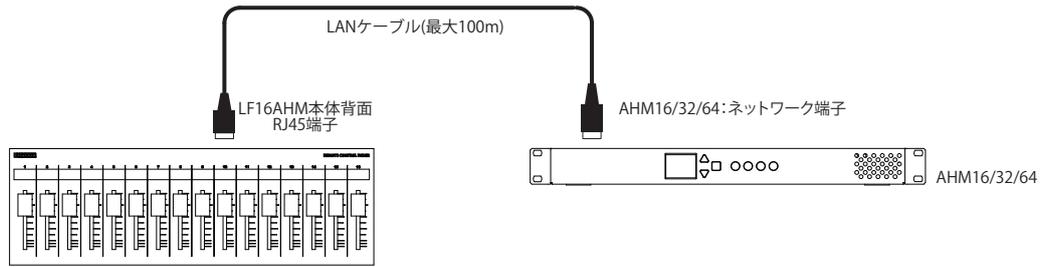
2台目のLF08AHMのDIPスイッチを1のみONに設定する。
⇒GroupFaderのNo.9～16を操作

操作するGroup Faderが重複してしまうので使用できません。

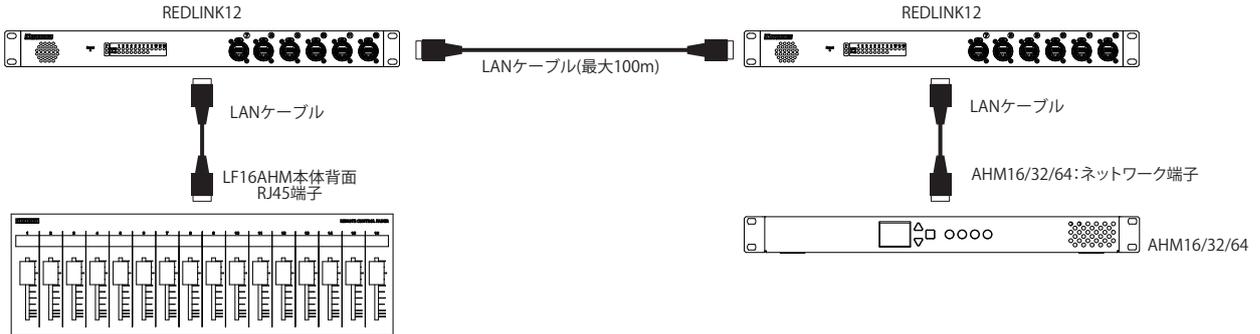


No.9～16が重複する

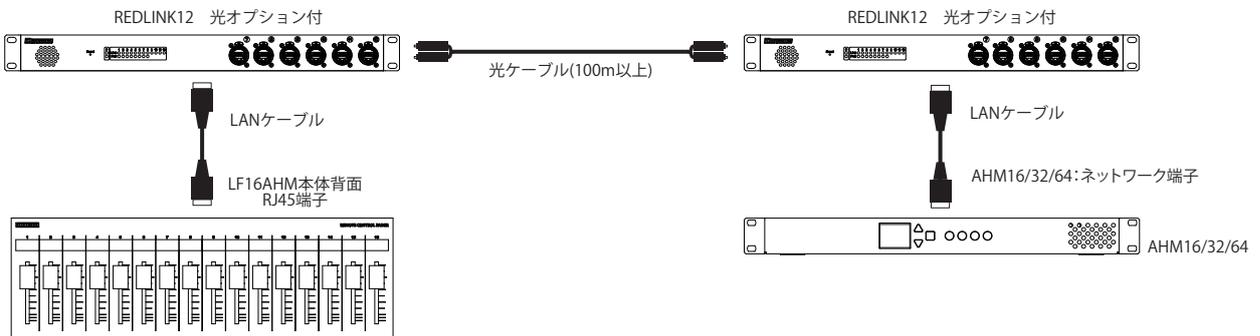
■基本接続



■スイッチングハブを使用した基本接続① (LANケーブル)



■スイッチングハブを使用した基本接続② (光ケーブル)



■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
 水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
 海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
 ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
 機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
 D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
 万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されており、保証書は添付されておりません。
 万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
 また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社Digicom

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

http://e-digicom.co.jp/